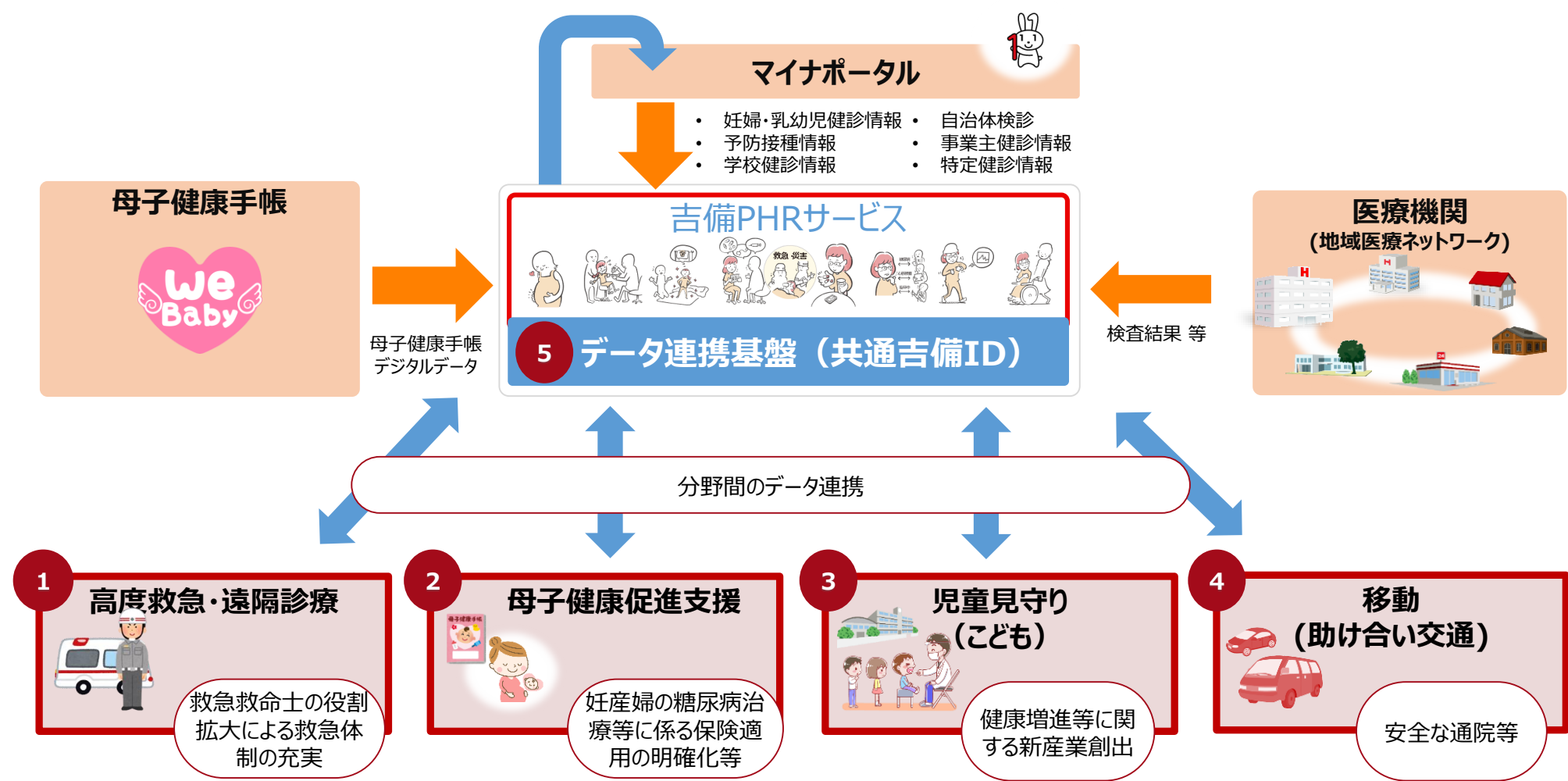


デジタル田園健康特区 吉備中央町

令和5年3月16日
吉備中央町長 山本 雅 則

住民がワクワクしながら安心・安全に生活できる未来型シティの創出

当町は、典型的な中山間地域であり、人口減少や少子高齢化など深刻な問題を抱えている。その要因となっている、**地域医療**や**高度救急**などの医療環境の不足等の地域課題を解決し、**中山間地域のモデル化を目指す**。



救急救命士の役割拡大やDXによる救急体制の充実

地域課題

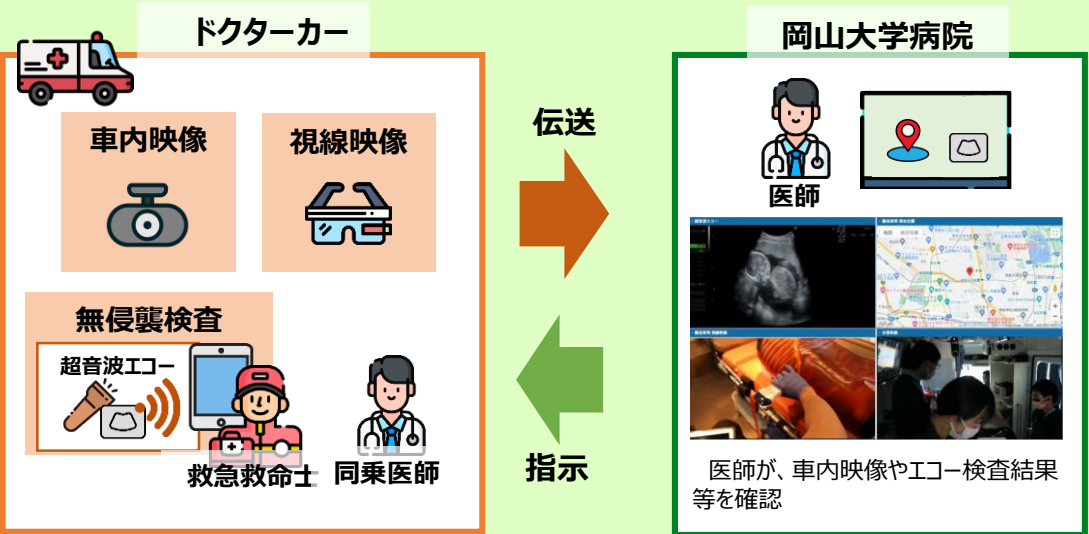
- 町内に高次救急病院がなく、救急や夜間の小児科受診など、町外の病院搬送まで時間を要する。
- 時間を要する搬送では、病院到着の際に急変し、転院搬送が発生することも多い。

早期治療着手の実現

- 救急救命士による超音波エコー検査を可能とすることで、搬送中の情報収集を行う。
- 救急車内のDX化により、患者の生体情報等のデータを微医療機関に伝送。

【最近の取組】

○病院からの遠隔指示を可能とするシステムや、超音波エコー検査の教育カリキュラムやコンテンツを整備



超音波エコー検査教育システム



「先端的服务の開発・構築等に関する調査事業」（令和4年度）

母子健康の取組「ウィラバ：WeLoveBaby」

ウィラバは冊子型母子健康手帳をスマホで撮影するだけで手間なくデジタイズできる
2022年9月29日より吉備中央町で実装 & 段階的に岡山県の全分娩取扱施設で開始予定

○ウィラバアプリ



写真を撮るだけで、紙の母子健康手帳や生活の思い出・子供・家族の日常を**全自動かつ無制限・無料・無期限でデータ保存可能**。他にも、子育て支援事業のイベント・一時預かりのデジタル予約や、医師助産師の遠隔指導が可能。

○ウィラバペーパー



妊娠・出産・子育て中に、**すごろく感覚のゲーミフィケーションを採用**。行政や企業から、多くのおトクを体験でき、「子育ては社会で行う」を町で実現。本年9月29日の運用以降、**64.3%の住民がサービス使用を継続、定期的なヒアリングによる改善を年複数回行う**。利用者の満足度の向上を目指す。